



災害級と思えるほどの暑さも終わり朝夕はようやく秋らしく涼しくなってきました。最近、春先は花粉、PM2.5、梅雨時は大雨、夏の酷暑、秋の台風、冬のドカ雪そして地震と1年中天候と自然災害に気を付けていく時代となりました。あれほどの暑い夏が今後とも続くかと思えますと・・・私が子供のころの夏は半ズボン、ランニングシャツ、野球帽で過ごしていましたし下の五反田川で泳いだりもしていました。勿論クーラーなんてありません。少子高齢化、社会構造の変化とともに町会活動も変化をしていきますが猛暑、寒さ、地震という自然環境に対してもさらに知恵を絞って対応していく時代となりました。今年度の後半は避難訓練もあります。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

会長 井田雅春

## 役員会からのご報告とお願い

### \*第56回生田地区親子運動会が開催されました

生田地区親子運動会が10月8日(日)南生田小学校で開催されました。昨年は半日の開催でしたが、全競技で開催されるのは実に5年ぶりとなり、パン食い競争、生田大障害、ゲートでハッスル等、皆さん笑顔で競技を楽しんでおりました。

町会対抗競技では町会の期待を一身に背負い選手の皆さんは一生懸命戦ってくれました。頑張りすぎて怪我をしまった方がいますが、早期の回復をお祈りしたいと思います。成績は下記のとおりです。

綱引き : 完勝 (2勝)

大縄とび : 記録 19回

リレー : 予選 2位、決勝 2位グループ 1位

選手の皆さん、子ども会の役員、スポーツ推進委員、青少年指導員、大会関係者、町会役員の皆さん、お疲れさまでした。応援していただいた皆さん、ありがとうございました。



### \*バザーに協力をお願いします

11月12日 日曜日、生田出張所二階で、生田町連主催の福祉バザーがあります。これに向けて、町会の皆様には品物の提供にご協力いただきたくよろしくお願いします。

提供していただきたい品物は次の3分類で未使用のものです。

- 食品類 賞味期限が2024年1月1日以降の調味料、飲料、乾麺、インスタント食品
- タオル類 タオル、シーツ、カバー類、ふきん、ハンカチ
- 石鹸類 石鹸、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤  
(景品や企業名入りのものは対象外です。会場が狭いため、3分類以外の提供はご遠慮ください。)

ご提供いただける品物は、

**11月4日土曜日、10時から16時まで町会会館一階まで**  
**ご持参ください。**

皆さまのご協力をよろしくお願いします。

婦人部長 鈴木紘紗子

## 夕日射す 川面に鴨の 布陣なす 薩州

### \*栗谷カフェを開催します

10月28日 土曜日 13:30~15:30、須賀神社境内で『栗谷カフェ マロン』を開催します。

当日は子供文化センターのハロウィンがあり、扮装した子供達がカフェにも、次々と現れます。どうぞ可愛い仮装を見て、楽しんでください。

カフェではコーヒー紅茶はもちろん、毎回好評のお汁粉、抹茶やお菓子も用意してお待ちしています。栗谷カフェ マロンは、おしゃべりの場です。いろいろな方とおしゃべりの花を咲かせて、秋の一日をお楽しみください。 婦人部長 鈴木紘紗子

### 主任児童委員のご紹介

主任児童委員とは？

まだ認知度が低いのでくりやニュースで理解を深めていただければと思います。主任児童委員は、子どもや子育て家庭への支援などを担当する民生委員児童委員です。地区担当民生委員児童委員と一緒に活動しています。学校や保健師などの関係機関との連絡調整を行います。多摩区には8つの民生委員児童委員協議会があり、主任児童委員は各2名ずつの16人(うち欠員2名)がいます。地域での子育てサロンを開催したり、子育てに関する相談や見守り、児童関係施設との意見交換をして協力・連携してつなげる役割をしています。守秘義務と基本的人権の尊重を義務づけられています。地域全体で見守っていければ、何かあった時にすぐ関係各所につなげられるのです。見守り対象は0歳から18歳です。もしかしたら虐待では？と思った時は相談してください。状況に対応して関係機関につなげます。今は、家庭環境が多様なケースで成り立ってきています。地域で見守る目が多ければ早期発見につながります。みなさんの意識が向上し、栗谷町会は、いつも子どもの元気な声と笑顔いっぱいでお過ごせる環境がいつまでも続くお手伝いが出来ればと思っています。

主任児童委員 岸 芳枝

### 資源回収毎月ご協力有難うございます

回収日は毎月第4土曜日です。今月は28日(土)です。

朝8時までにお出しく下さい。回収物は新聞・雑誌・ダンボールです。ダンボールは必ずひもで縛って下さい

9月の資源回収量合計 4,250kg (昨年9月比 +190kg)

新聞紙 710kg (+50kg)、雑誌 580kg(+130kg)

段ボール 2,960kg (+10kg)



## くりの「わ」からのお知らせ

今年の夏は異常気象で猛烈な暑い日が 100 日も続きました。10 月に入りやっと涼しくてホッとしていたら今度は急に寒い日があったり、身体もついていきません。寒暖差疲労というのがあるそうで首の周りが凝ったり、身体がだるかったりするそうです。皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？

今月のくりの「わ」は包括支援センターが企画立案下さった「フレイルの予防について」を川崎 YMCA の講師が話して下さいます。

**\* 転倒防止体操 講師…橋詰 紀美子先生**

**\* フレイルを予防する栄養や食生活**

講師…川崎 YMCA 鈴木 洋子様

**\* 日時…10月20日(金) 午後1時半～3時半**

**\* 場所…栗谷町会会館2階ホール**

くりの「わ」は参加費無料です。どなた様も自由にご参加下さい。  
町会福祉部くりのわ担当 渡辺

## \*三心会便り 令和5年10月号

令和5年9月度活動実績及び10月度以降の活動予定は以下のとおりです。

### 9月度活動実績

- 9月15日(金) 生田老連主催の葡萄・桃狩り  
当会から6名参加され秋の一日を楽しまれました
- 9月17日(日) 誕生会及び「長寿を楽しむ会」を同時開催  
誕生者に赤飯をお渡しし、長寿を楽しむ会では会員全員に紅白饅頭をお配りし「ビンゴ大会」を楽しんで頂きました。  
また喜寿の方2名にお祝い金を贈呈しました。
- 9月20日(水) 社会奉仕の日  
11名の三心会会員は須賀社下の公園清掃を実施。雑草等を刈り取り子供達が安心して遊べる環境を整備しました。
- 9月21日(木) 多摩区老連主催第45回演芸大会  
多摩区市民ホールにて開催され全体で34の催し物が披露されました。当会では踊りと唄で参加。
- 10月1日(日) 10時～例会を開催しました。
- 10月5日(木) 多摩区老連主催のグランドゴルフ大会  
秋晴れの中開催され約240名参加し、日頃の練習の成果を発揮されホールインワン続出し、当会も女性2名が受賞。
- 10月11日(水) 多摩川クリーン作戦  
各老人会より2名参加し清掃を実施。

### 10月度活動予定

- 10月13日～18日 第44回趣味の作品展  
市民ギャラリーにて当会より6点出展。
- 10月15日(日) 第52回多摩区老連スポーツ大会  
登戸小学校にて開催。当会より12名参加予定 輪投げ、宝探し、風船割り等8ゲーム。
- 10月22日(日) 10時より誕生会開催します  
15日がスポーツ大会の為変更。
- 10月23日(月) 多摩区ペタンク大会  
多摩川グランドにて  
生田大会を勝ち抜いた三心会は2チーム参加予定
- 11月10日(金) 第37回生田地区お年寄りの集い  
多摩市民館にて開催。9時～11時30分 当会より踊りと唄で参加予定。

三心会は新規加入の方を常時受け付けて居ります。ご加入をお待ちしております。

加入資格 栗谷在住で60歳以上の方 会費 年額1,200円  
連絡先 第一三心会 高橋 政嘉 080-3392-5481  
第二三心会 藤井 公望 044-955-6467

## 『心を満たす』子育てメソッド(4)

自ら行動するステップとして、子どもの成長に合わせて段階的に3つのステージを進むのが一般的理想像です。動物に例えて3つの環境を説明します。

『動物園型』何もしなくてもエサをもらえてるけど、自由のない狭い場所でしか生きられない。『牧場型』昼間は草原で自由に行動でき、動物舎に帰れば安全・安心が保たれ寝る場所やエサがある。『サバンナ』いちばん自由でどこにでも行けるけれども、危険から身を守り、自分で水分や食べ物を探しながら生きていかなければいけない。人間の子育ても、この3つの環境に置き換えて考えるとわかりやすいと思います。この3つのステージを段階的に進めていく事が、子どもの自立を促すステップです。しかし現状はなかなか移行できないケースが多いです。親がつまづきやすいポイントは、幼児期に『牧場型』への移行ができずに『動物園型』のままになっていることです。『動物園型』と『牧場型』の子育ての違いは、子どもの自由な行動範囲が狭いか広いかの違いです。自立した子どもに育つ3つの原則は①『監視』するのではなく『観察』するです。『監視』は悪いことをしないように見張っているの子どもで、欠点ばかり目につきます。『観察』では子どもの自然な成長を客観的に見ることで、ささやかな成長や変化に冷静に気がつくようになります。②選択肢を与えるのは親、判断して決定するのは子どもです。子どもは知識も経験も足りないので、親が選択肢を説明し子どもが判断する仕組みを子育ての中で習慣化することです。自己判断力、自己決定力を高めて行きます。③親がやらせたいことではなく、子どもがやりたいことを応援する、です。子どものやりたいことを応援すると自己肯定感が高まり、その子の心が満たされることで今まで挑戦しなかったことも取り組み始めます。子育てのゴールは『どんな時代でも生きていけるように自立させる』です。

そこを目指し子供を信じて手を放していくことは親の覚悟が必要です。その時のポイントは子どもの実年齢と精神年齢は違うと理解した上で、一度子どもの精神年齢まで目線を下げて自立ステップを進めてください。何歳からでもスタートできます。

3丁目担当理事 清川洋美

## 《錦ヶ丘こども文化センターからのご案内》

### 10月の行事

- 「紙飛行機を作って飛ばしてみよう！」(乳幼児親子・小学生・中学生・高校生)  
16日(月) 15:30～16:30
- 「おもちゃランド」(乳幼児向け)  
18日(水)10:30～11:30
- 「ポッチャデー」(小学生・中学生・高校生)  
21日(土) 14:30～15:30
- 「けん玉練習」(小学生3年生以上・中学生・高校生)  
21日(土) 16:00～16:30

### 10月の行事

## 「こ文 de ハロウィン」



- 錦ヶ丘こども文化センター運営協議会・川崎市子ども会連合会生田支部共催  
10月28日(土) 13:30～16:00(予定)

今年も、こ文からスタートして、地域を仮装してめぐります。幼児親子さんも、ごぞって、ご参加ください！

18日(水)までに、保護者の方が錦ヶ丘こども文化センターに申込みに来てください。定員を超えた場合は抽選となります

館長 岩田 昭彦

お問い合わせ：錦ヶ丘こども文化センター

Tel/Fax 044-955-6232

